

# 平成29年度 校内研修計画

鈴鹿市立 愛宕小学校

## 1. 学校教育目標と目指す学校像

「主体的に学び、主体的に考え行動できる児童の育成」

「子ども同士がつながり合い、優しさと笑顔があふれる学校」

「保護者や地域に信頼され、ともに創り上げる学校」

- ① 児童が安心し、安全に楽しく学べる学校
- ② 確かな学力・体力の育成を目指し、主体的に学ぶ学習を大切にしている学校
- ③ 思いやりと感謝の気持ちを持ち、自主的に関わる子を育てる学校

## 2. 10の重点行動

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 人権文化の確立
- (3) 体力・運動能力の向上
- (4) 学習規律・生活規律の確立
- (5) 安全・安心な教育環境
- (6) 災害対策の充実
- (7) 開かれた学校づくり
- (8) 評価を生かした学校経営
- (9) 全職員の資質向上
- (10) 生き生きとした職場づくり

## 3. 研修課題

子どもたちが自ら考え、ともに学び合う姿を目指して  
～生きる力をもった子の育成～

## 4. 課題設定の理由

本校では、2015年度までに8年間、国語科の指導のあり方について研究を重ねてきた。そこでは、全員参加の話し合い活動を中心に取組まれたが、話し合いの広がりや深まり、子どもたちの思考やコミュニケーションの弱さに課題が残った。

さらに、子どもたちの学校生活に目を向けると、気持ちをうまく言葉で伝えられていないことがわかってきた。また、そこから起こる想いの行き違いや一方的なやりとりも多く見られた。

そこで、友だちの意見を聞いたり、友だちに自分の思いを伝えたりすることの大切さをあらためて感じるようになった。そして、話し合いを深め、互いに高まっていくことに喜びを感じる児童に育てて欲しいという願いが生まれた。伝え合うこと、教え、教えられることの楽しさ、おもしろさから「相手を思いやる」「相手の気持ちを理解できる」児童に育てていきたいと願った。

そこで、2016年度からは、算数科の学習を通して「伝え合う力の育成」を研究主題とした。

互いの意見を尊重し、新しいものを知ろうとする人間関係の中で、学習を深めていけるよう子どもたちを育てていきたい。

## 5. これまでの経過（成果と課題）

国語科において、学習の積み上げや目指す子ども像の達成など課題は残るもののある一定の成果は出てきている。今後は算数科を中心に、これまでの話し合い活動を活かしながら思考力を育て、学びを活かせる子どもを育てていきたい。

（1年目）

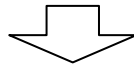
アクティブラーニングを目指し、1時間の授業の中に子どもたちの思考・学び合いの時間を設けた。更に授業の内容が視覚的にもわかりやすいように1時間の板書の形も定着に努めた。

本時の目当て→課題→自己解決→グループ・全体での解決→まとめ→適用問題（学習日記）の流れで授業をおこない、子どものノートも見開きの2ページを使ってみてわかるノートを目指した。

また、教科書+αの授業を考え、導入に子どもの関心・意欲を高める工夫を取り入れた。

## 6. 研修の力点

- (1) 「学び合うためのクラスづくり」（全員が参加する授業）
- (2) 「これまでの研修での取組を活かす授業づくり」
- (3) 「基礎基本と家庭学習の充実」・・・自ら学ぶための基礎力
- (4) 「学びを活かす力の育成」・・・学習をつなげる
- (5) 「教師力の向上」（現職教育）
- (6) 「少人数教育」の検証と充実



- (7) 既習の学習を活かし、子どもたちが自ら考えながら答えを導き出す姿を目指す

## 7. 本年度の取り組みについて

昨年度の取り組みの中で思考力の弱さが明確になった。これは、これまでのコミュニケーション力と合わせて大きな課題となる。思考には知識が必要となるため、基礎的な学力はもとよりそれを活用し、考える力も必要となってくる。そのため、算数だけを念頭に置いて研修を深めていくことは非常に難しい。教科を横断し、年間を見通した計画を立てて1年間を過ごしていくことが求められる。

そのことから、職員全員が研修課題の達成に向けて何らかのアイデアを持ち、日々の授業にのぞんでいきたい。

そのために

- ① 国語授業の理解と充実
- ② 研修（学び）を職員全員で取り組む。
- ③ 現職教育の充実。（教師の学び）
- ④ 総合的な学習の時間を活かす。
- ⑤ 評価について などに取り組んでいく。

さらに・・・

- ⑥ 年間6本の授業提案と部内研による全員授業（アイデアや取り組みを出し合う場）
  - (ア) 提案授業は1学期2本、2学期3本、3学期1本程度を予定。
  - (イ) 授業研は基本的に全体研のある水曜日が、それに近い日程を組む。（年間計画を参考）
  - (ウ) 事前研は月曜15：30～30分程。（行事等のみて臨機応変に！）指導案および授業計画

について検討。迷いやわからない点があれば全体で確認する。（個人の授業ではなく全員の考える授業を代表で行うという感覚。）今回の授業の視点、前回の授業研を受けての改善ポイント、提案に向けてのクラス・学年での取り組みを報告する。

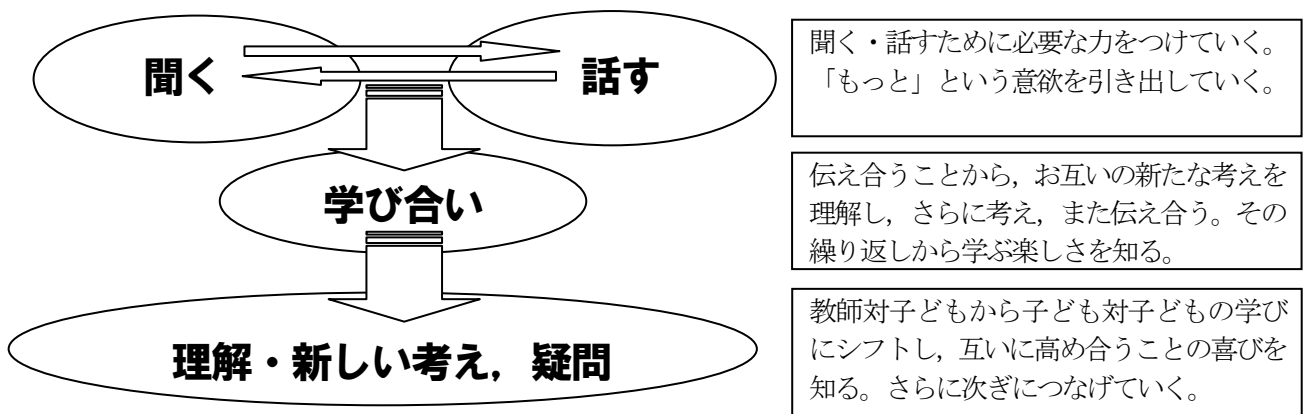
- (エ) 提案授業後に短いコメント（感想・疑問など）を書き事後研までに全員分印刷。それを元にして事後検討会を行う。
- (オ) 事後研では、全員が何らかの学びが得られるよう全員が参加（意見や思い、疑問を伝える。）し、次の授業に活かせるものをつかむ。（全員の考えを出し合える。理解し合える。）
- (カ) 授業→検討と改善→次の提案→授業」のサイクルを意識して全員で学校を作る。

⑦ 一年を通して目指す子ども像のイメージをそれぞれが具体化していく。

⑧ 授業規律および算数科での意思統一

- (ア) 聞く、話す、見る、などの基本ルール（TPOに合わせた指導）
- (イ) 問題・まとめは青い枠で囲む、答えは赤ライン。定規で線を引く（赤・青鉛筆用意）
- (ウ) 授業の流れとノートの使い方（見開きの2ページ使用）
- (エ) 式には単位をつける。具体物から半具体物へ（イメージを大切にしていく）→図の利用と活用
- (オ) 問題文は3つに分ける
- (カ) わからないことを出し合って課題（ねらい）と振り返りのある授業の流れを作る。

## 8. 目指す子ども像



聞く・話すために必要な力をつけていく。「もっと」という意欲を引き出していく。

伝え合うことから、お互いの新たな考えを理解し、さらに考え、また伝え合う。その繰り返しから学ぶ楽しさを知る。

教師対子どもから子ども対子どもの学びにシフトし、互いに高め合うことの喜びを知る。さらに次ぎにつなげていく。

「伝え合う力」とは何か…

伝え合う力とは、「人と人のかかわりの中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して、正確に理解したり、適切に表現したりする力」とらえる。(学習指導要領より)

- \* 発想した物事を論理的に整理し、自分の考えを適切に表現していくことができる。
- \* 『子ども←→子ども』の相互の思いや意見を大切にした（正確に理解した）話し合いができる。
- \* 学びや気づきを通して、互いを高め合うことができ、その楽しさを知ることができる。
- \* 既習の学習を活かし、目の前の問題を解決することができる。

## 9. アクティブラーニングを通して

アクティブラーニングという指導法が唱えられるようになったのはここ近年の話である。聞きなれない新しい言葉に多くの教員が「未知」なものを想像して戸惑ってしまう。しかし実際には、ペアやグループでの活動は多くのクラスで行われており、子ども同士による主体的な学びは多くの場面でみられている。

アクティブラーニングが唱えられる背景には、主体的に考え活動することで、より脳を活性化させ、話し合うことでより深い知識と理解を得ることができるからである。一方的にあたえられる知識だけでなく、知識を自分の言葉で語り、既習の学習を活かし、思考と工夫を重ねていく。そうすることで「生きる力」をもったたくましい子どもを育てていく。

アクティブラーニングとは、各教科等における習得・活用・探究の学習過程全体を見渡しなが、**「深い学び」「対話的な学び」「主体的な学び」**の**三つの視点**に立って学び、全体を改善していくことと提言されている。本校でも、近寄りがたいというイメージではなく、特定の学習・指導の型や方法の在り方ではなく、「習得・活用・探究の学習過程全体」を見通した**不断の授業改善の視点**であることに留意しながら研修を深めていきたい。

資質・能力の育成や学習の深まりの鍵となるものとして、各教科等の特性に応じ育まれる「見方や考え方」があるが、こうした「見方や考え方」を、習得・活用・探究を見通し、更に成長させながら、資質・能力を獲得していきたい。そしてそれが「深い学び」となると考えている。

今後、子どもたちが習得・活用・探究を見通した学習過程の中で、「見方や考え方」を働かせて思考・判断・表現し、「見方や考え方」を成長させながら、資質・能力を獲得していけるような学びを探っていきたい。



## 9. 年間計画

| 日にち           | クラス (授業者)             | 内 容                                   | 備考               |
|---------------|-----------------------|---------------------------------------|------------------|
| 4/13 (水)      |                       | 校内研修会 (三委員会)<br>昨年度からの流れの確認・本年度研修計画 等 | 研修の綴り<br>職員の意思疎通 |
| 4/19 (火)      | 4・5・6年生               | 全国学力調査6年・スタディテック4, 5年                 | 各教室              |
| 4/27 (水)      |                       | 第一回 校内研修会<br>算数で大切なこと・研修綴りの確認         | 実践に向けて           |
| 5/11 (水)      |                       | 鈴教研 班研修①                              | 各会場              |
| 5/18 (水)      |                       | 第二回 校内研修会 国語 説明文・詩                    | 実践に向けて           |
| 6/8 (水)       |                       | 鈴教研 班研修                               | 各会場              |
| 6/15 (水)      |                       | 第三回 校内研修会 算数 教材とアイデア                  | 実践に向けて           |
| 6/末～ 7/4      | 全体研授業提案<br>①          | できれば2本の授業提案<br>7/4 (月) に事後研           | 7/4 に事後研         |
| 7/4 (月)       | 全体研授業提案<br>②<br>事後研修会 | 第四回 校内研修会<br>事後研修会 (できれば2本)           | 当日 事後研           |
| 7/末～<br>(22?) |                       | 第五回 校内研修会 1学期の反省 or 人権?               | 講演会?             |
| 7/27 (水)      |                       | 鈴教研 班研修                               | 各会場              |
| 8/17 (水)      |                       | 鈴教研 全員学習会                             | 13:30～ 各会場       |
| 8/19 (金)      |                       | 教育研究集会                                | 13:30～ 各会場       |
| 8/26 (金)      |                       | 第六回 校内研修会 算数の教材とアイデア                  | 実践に向けて           |
| 9/14 (水)      |                       | 第七回 校内研修会 二学期の課題                      |                  |
| 10/5 (水)      | 全体研授業提案<br>③          | 第八回 校内研修会<br>できれば授業をして事後研             |                  |
| 10/12 (水)     |                       | 鈴教研 班研修                               | 各会場              |
| 11/2～11/16    | 全体研授業提案<br>④          | この間に1本授業                              | 11/16 に事後研       |
| 11/9 (水)      |                       | 鈴教研 班研                                | 各会場              |
| 11/16 (水)     | 全体研授業提案<br>⑤          | 第九回 校内事後研修会 (できれば2本)                  | 当日 事後研           |
| 11/30 (水)     | 千代中人権発表               | 学年一人の授業                               |                  |
| 12/5 (月)      | 全体研授業提案<br>案?         | 事後研?                                  |                  |
| 12/7 (水)      |                       | 鈴教研 班研修                               | 各会場              |
| 1/11 (水)      |                       | 鈴教研 班研修                               | 各会場              |
| 1/30 (水)      | 全体研授業提案<br>⑥          | 第十回 校内研修会                             | 当日 事後研           |
| 2/1 (水)       | 5年生                   | スタディテック5年                             | 各教室              |
| 2/8 (水)       |                       | 第十一回 校内研修会 来年度に向けて                    |                  |
| 3/8 (水)       |                       | 第十二回 校内研修会<br>来年度に向けて・本年度の冊子作り        |                  |

\* 予定につき変更あり (授業提案数により予定は変更あり。) (くわしくは次頁記述)

\* 授業者の都合によっては授業をおこない、数日後に事後研もありうる。

## 授業提案数について

これまで、全体研授業提案を各学年1本の計6本としてきました。(人権同和含む) 時間もなく忙しい中ですが、授業提案をやることで学び、身に付いていくことも多くあります。逆に授業提案が無くなれば、あえて学ぶ必要もなくなり、何もしないまま学びや変化も少なく一年が終わってしまうことも考えられます。

負担が増えては、必ずしも有益とはいえなくなります。しかし、授業はたくさんこなしていく方が、力になります。無理のない程度でかまいません。今年も、出来るだけ多くの授業から全員の力に変えていきたいと考えています。

- \* 各学年1本 計6本
- \* 事前研あり(出来るだけ簡単に授業内容や、迷っている点などを話し合う。)
- \* まつかぜは全体研という扱いではないが、授業の様子や風景を見学する機会を作る。

## 確認事項

- \* ワークシートや自作や活用したプリント類、をデータに保存。学校の財産として残す。
- \* 取り組みの内容や様子を、できるだけ多く写真や記録に残しておく。
- \* 総合的な学習の時間の学年別カリキュラムを作成し、年間計画に活かしたい・・・。
- \* 各教科の年間計画を5月末日までに作成・提出する。(現在のところ連絡なし)
- \* 市教委に指導の願いを出す。
- \* これまで同様、提案時間以外にも授業を見合う時間を作っていきます。特別な準備なし。誰がどの教室にいつ入ってどのように見学してもよし。(子どもによっては配慮も必要。)
- \* 4月、5月を中心に**5-5運動を展開**。(空き時間を中心に職員室に戻る時間を活用して5分程度の見学、一日の終わりに5分話し合い。orメモ。)

## 指導案様式と事後検討について

指導案様式・・・後日提案(それぞれにて研究、提案もOK。)

## 事後研

全員が全体場で一回以上の発言をする。(誰が何を考えているのかを伝えあい、理解詩会える職場に。)

授業後に全員が短冊に感想など書き、一つにまとめて印刷。

授業はビデオにまとめて、導入・展開・発問・子ども同士の意見交流の様子などについて検証。

写真・ビデオは学年部(低・中・高)でそれぞれ相談して行う。ビデオは備え付けでもよいが余裕があれば子どもたちの様子・板書・ノートの書き込み(記入)の様子などを写せるとよい。

記録は基本同学年にて行う。

事後研の司会は、研修部にて行う予定。

## 研修日程

| 学年              | 1年生     | 2年生   | 3年生                     | 4年生      | 5年生      | 6年生              |
|-----------------|---------|-------|-------------------------|----------|----------|------------------|
| 担当者             | 丹羽      | 草深    | 坂口                      | 猪口       | 松本       | 喚阿               |
| 時期              | 1/29(月) | / ( ) | / ( )                   | 11/20(月) | 6/19(月)  | 6/5(月)           |
| 時間              | 限目      | 限目    | 限目                      | 2限目      | 2限目      | 2限目              |
| 授業内容<br>と<br>備考 | 指導主事訪問  | 2学期   | 鼓が浦中学校<br>区研(人権)<br>2学期 | 指導主事訪問   | 『小数のわり算』 | 『円の面積』<br>指導主事訪問 |

\* 授業は基本「算数」でおこなう。

\* 学力調査の結果を活かす取り組みをそれぞれの学年でおこなっていく。